

報道発表

令和2年12月18日
名古屋税関
豊橋税関支署

令和2年11月分 三河港 貿易概況（速報）の要旨

令和2年11月分について、輸出は「船舶類」などが減少したものの、「自動車」、「鉄鋼」などが増加したことから対前年同月比22.6%の増加となった。また、輸入は「航空機類」などが増加したものの、「自動車」、「果実」などが減少したことから、同33.6%の減少となった。

その結果、差引額は1,771億円（同62.5%の増加）となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
三河港	2,285億円	+22.6%	514億円	▲33.6%	1,771億円	+62.5%
	3カ月連続の増加		2カ月ぶりの減少			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車	2,204億円	+22.7%	輸入	増加品目	(1) 航空機類	17億円	全増
		(2) 鉄鋼	16億円	+79.4%			(2) 原動機	3億円	全増
		(3) その他の化学製品	22億円	+20.7%			(3) 木材	1億円	+131.9%
	減少品目	(1) 船舶類	—	全減		減少品目	(1) 自動車	440億円	▲35.6%
		(2) プラスチック	2億円	▲27.3%			(2) 果実	1億円	▲97.5%
		(3) 非金属鉱物製品	1億円	▲33.6%			(3) 鉄鋼	23億円	▲20.1%
	地域別動向					地域別動向		西欧、アフリカが減少、アジアは増加	

（参考）ドルレートは、104.68円（前年同月比3.8%、4.08円の円高）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。